

貴志南っ子

7月

令和4年7月1日

短い梅雨が終わり、夏本番をむかえました

◇7月に入りました。今日を入れて1学期もあと13日の登校です。

今年は6月のうちから、連日30度を超える暑い日が続いています。

熱中症対策として、屋外では基本的にマスクをはずすことのほかに水泳や体育、また大休憩や昼休憩の外遊びについても、天候や気温、熱中症指数をみながら行っています。

コロナについても、また少し増えてきている様子もあり、学校生活において気を付けなければならぬことがたくさんあるのですが、子供たちの健康と、安全安心を第一に取り組んでいます。

ご家庭でも、お茶をたくさん持たせていただいたり、帽子をかぶせていただいたり、さまざまに対応いただきありがとうございます。引き続きよろしくお願ひいたします。



◇6月4日(土)には、育友会の整備活動を行っていただきました。委員さんと役員さんに参加いただき、校庭や畑、プール前広場、溝の草ひきや草集めを行っていただきました。おかげさまですっきりときれいになりました。お休みの日の活動、本当にありがとうございました。

◇また6月23日は、今年度2回目の授業参観及び懇談にご参加いただきありがとうございました。

4月に引き続き、今回も地区別に時間を区切らせていただきました。短時間での参観となり大変申し訳ありませんでしたが、ご理解ご協力をいただきありがとうございました。2学期には一斉の参観に戻していきたいと思ってはいますが、引き続きコロナの状況を見ながらになります。

◇6月28日に気象庁から、近畿地方でも梅雨明けしたとみられるという発表がありました。統計がある昭和26年以降最も早く、しかも6月中の梅雨明けは初めてのこと。また、梅雨入りも遅かったため、近畿地方では梅雨の期間も最も短くなったそうです。日本では春夏秋冬の四季に梅雨季を加えて五季とする季節区分の方がよいという考え方もあるくらい、梅雨は日本の稻作文化を育て、私たちの生活に深く関わってきたものです。長い雨が続くと憂鬱になることもあります、梅雨がもたらす恵みもあります。梅雨に限らず近年の様々な異常気象は災害という面だけでなく、日本の季節感や文化にも大きな影響を与えてるよう感じられます。今年の梅雨の短さは雨の少なさにつながります。学校の周りにもたくさんの水田があります。5年生の子供たちも先日、田植え体験をさせて

いただいています。異様な暑さと渴水でさまざまな農作物の収穫に影響がないことを願いつつ日々学校周りの美しい田んぼを見てします。

◇暑さ厳しい折、保護者の皆様もどうかご自愛ください。



一点の偽りもなく青田あり（山口誓子）

<学校長>